

# ついに全線開通! 市道中矢田篠線



「篠工区」開通を祝うテープカット

2月24日、国道9号の慢性的な渋滞の緩和と市民の皆さんの快適な生活を支える道路として、市道中矢田篠線(総延長3.5キロメートル)が全線開通しました。

同市道の内、国道9号と市道篠ランプ9号線を結ぶ延長約850メートルの「篠工区」については、平成19年度から整備を開始し、地権者や地域住民の皆さんのご理解とご協力をいただきながら工事を進めてきました。平成27年4月の上矢田町から中矢田町にまたがる「上矢田工区」の開通に続き、今回の「篠工区」が開通したことで、交通の円滑化と沿道土地利用の活性化が期待できます。

また、既供用区間の安全対策として、注意喚起の警戒標識や速度抑制効果のある路面標示などを設け、下り坂などのスピードが出やすい区間や小・中学校付近の交差点にはガードパイプを設置しています。

「篠工区」の開通当日には、地元である篠町自治会が竣工感謝式を開催。亀岡あゆみ保育園の園児や、明智かめまるも駆け付け、テープカットや通り初めが行われました。篠町自治会長の牧野吉明さんは「念願の全線開通となり、関係者、沿線地域の皆さんに感謝いたします。今後、地域の皆さんの生活が便利になり、地元の発展に大きく寄与することを期待しています」と述べられました。



▲ JR馬堀駅からコミュニティバスに乗り込む乗客の皆さん

同市道の開通に合わせて、篠地区でコミュニティバスの試験運行が始まりました。地元自治会の要望などを受けて、JR馬堀駅を発着地とする左回りコースと右回りコースが設けられ、篠地区における公共交通機関の空白地域が解消。JR馬堀駅を利用する通勤・通学や買い物、亀岡市立病院への通院などが便利になりました。

## 篠地区でコミュニティバスの試験運行開始!



## 【職員の給与状況を公表します】

### ■ 人件費の状況 (平成26年度普通会計決算)

住民基本台帳人口 (平成27年3月31日現在)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考) 25年度の率
91,259人	35,967,574千円	382,245千円	5,718,014千円	15.9%	17.3%

(注) 人件費には、職員給与のほか特別職および非常勤職員に支給する報酬なども含まれます。

### ■ 初任給の状況 (平成27年4月1日現在)

区分	亀岡市	国
行政 大学卒	174,200円	174,200円
行政 高校卒	142,100円	142,100円

### ■ 平均年齢・平均給料月額 (平成27年4月1日現在)

区分	亀岡市	国
行政 平均年齢	42.6歳	43.5歳
行政 平均給料月額	319,764円	334,283円

### ■ 給与の削減措置の状況

区分	削減内容	削減期間	削減効果額
管理職手当削減 (5級以上)	7級 7%減 5級・6級 5%減	平成14年4月1日 から当分の間	年間約4,000千円 (平成27年度)

### ■ 期末手当・勤勉手当

区分	期末手当	勤勉手当
支給割合 (国と同基準)	2.60月分	1.50月分
1人当たり平均支給額	1,444千円	

・職制上の段階、職務の級等による加算措置(役職加算5~15%)

(注) 支給割合および1人当たり平均支給額は、平成26年度の数値です。

### ■ 退職手当

区分	自己都合	勤奨・定年
勤続20年	21.62月分	27.025月分
勤続25年	30.82月分	36.57月分
勤続35年	43.70月分	52.44月分
最高限度額	52.44月分	52.44月分
1人当たり平均支給額	8,689千円	21,656千円

(注) 支給割合および1人当たり平均支給額は、平成26年度に退職した職員に支給された平均額です。  
※ここでいう給与は、いわゆる「手取り額」ではなく、税金や保険料を差し引く前の額です。  
※詳細な内容については、今後市ホームページに掲載する予定です。

最初の1年程度は試験運行期間となり、おり、その間の利用状況などの結果により本格運行が検討されます。皆さんもぜひコミュニティバスをご利用ください。

## やさしい健康講座第102回

市民の皆さんの健康に関して、今回は市立病院の糖尿病内科部長が、専門分野についてアドバイスをします。

健康寿命を延ばす取り組みとして、「メタボ」「ロコモ」の治療・予防がすすめられています。最近耳にするこの「メタボ」「ロコモ」とは何なのでしょう。内臓脂肪が蓄積し、高血圧、高コレステロール、高血糖などの代謝異常をきたす状態をメタボリックシンドローム(代謝症候群)、通称「メタボ」といいます。また、骨や関節、筋肉(運動器)が衰え、転びやすくなる状態をロコモティブシンドローム(運動器症候

群)、通称「ロコモ」といいます。健康寿命の妨げとなる寝たきり・介護の原因として、メタボ系22.3%(脳血管疾患14.9%、心疾患7.4%、関節疾患20.2%)、ロコモ系32.7%(転倒・骨折12.5%)と、半分以上は「メタボ」と「ロコモ」が原因となっています。

日本整形外科学会公認、ロコモチャレンジ!では運動によるメタボ・ロコモ対策を薦めています。30分程度のウォーキング(できれば、少し汗をかくくらいの速足)で内臓脂肪を減らすことが薦められています。内臓脂肪を減らして体重を落とすと腰や膝への負担が和らぎます。また、有酸素運動で筋肉を鍛えると腰痛や膝痛の改善も期待できます。

メタボ・ロコモが気になった方は一度かかりつけの医療機関でご相談ください。

亀岡市立病院  
糖尿病内科部長  
濱口真英  
専門分野: 糖尿病内科